

令和6年度 板倉町議会事務事業評価結果に係る検討結果報告書

事務事業名	0歳児紙おむつ購入費補助事業
-------	----------------

担当課・係名	福祉課 子育て支援係
--------	------------

1. 検討結果について

予算決算常任委員会にて改善や検討事項とされた課題について、検討結果や具体的な改善方法等を記入してください。

検討結果、今後の対応予定等

○議会の合議結果

【②見直し（統廃合を含む）のうえ継続すべき事業】

- ・物価高騰を踏まえた補助額を3万円に拡充すべき。
- ・使いやすさを考慮し、現在の2千円券を千円券にするべき。
- ・給付券の利用範囲拡張（ベビー用品全般）を検討すべき。

【改善または見直し方法】

- ・近年の物価高騰傾向に加え、昨年度に実施した「子ども・子育てに関するニーズ調査」においても増額を求める意見があったことを踏まえ、補助額の増額に向けて検討します。
- ・ニーズ調査においても同様の意見があったことを踏まえ、町内取扱事業者と調整のうえ、令和7年度分の給付券から千円券に変更する予定です。
- ・出生時には、子育て支援金（第1子3万円、第2子4万円、第3子以降6万円）、子育て応援給付金（子1人につき5万円）をそれぞれ支給しており、育児用品の購入等を含む低年齢期における負担軽減を図るため、子育て世帯を経済的に支援しています。よって、本事業とは別の事業で補完していることに加え、本事業の成果（給付額に対する利用率）が極めて高い水準にあること、品目の複雑化によって町内取扱事業者の対応に混乱を招くおそれがあることを踏まえ、当面、給付券の利用範囲拡張を検討する必要性はないものと考えています。

令和6年度 板倉町議会事務事業評価結果に係る検討結果報告書

事務事業名	木造住宅耐震改修促進事業
-------	--------------

担当課・係名	都市建設課 計画管理係
--------	-------------

1. 検討結果について

予算決算常任委員会にて改善や検討事項とされた課題について、検討結果や具体的な改善方法等を記入してください。

検討結果、今後の対応予定等

○議会の合議結果

【②見直し（統廃合を含む）のうえ継続すべき事業】

- ・耐震診断の必要性を周知する方法を検討すべき。
出前講座の開催など。
- ・国の基準までの改修は高額になるため、工事までは至らない。国・県の動向を注視しながら、町単独の補助制度を創設してはどうか。

【改善または見直し方法】

- ・周知方法については再度検討を行い、対象建築物の所有者へ意識啓発できるような周知を行っていきます。
- ・現在板倉町では木造住宅耐震改修促進事業として、国庫補助事業である建物全体の耐震改修工事のみを導入しておりますが、同じ国庫補助事業にて簡易耐震改修（昭和25年以前の建物）・部分改修（2階部分のみの耐震改修）・シェルター等設置等を対象としているため、それらの導入を検討します。板倉町単独補助制度については、新たに導入する耐震改修補助メニューの需要と県内各市町村の動向を鑑み、慎重に検討したいと考えています。

令和6年度 板倉町議会事務事業評価結果に係る検討結果報告書

事務事業名	広域防災情報伝達システム事業
-------	----------------

担当課・係名	総務課 安全安心係
--------	-----------

1. 検討結果について

予算決算常任委員会にて改善や検討事項とされた課題について、検討結果や具体的な改善方法等を記入してください。

検討結果、今後の対応予定等

○議会の合議結果

【②見直し（統廃合を含む）のうえ継続すべき事業】

- ・有償無償の問題は、耐用年数及び住民サービスを踏まえ、検討すべき。
- ・有効活用として発信内容を検討すべき。（防災、行政情報等、活用範囲の検討を）

【改善または見直し方法】

- ・戸別受信機については、導入当初、町民への情報伝達が効果的となるよう無償での貸与としましたが、その後は当初に申請した町民との公平性、地方債（緊急防災減災事業債）の交付税算入による町の実質負担割合などを考慮して、有償による配布としています。今までに有償で配布を受けたかたとの公平性を保つため、今後も有償による配布を行う考えですが、保有する防災ラジオ本体も購入後5年を経過していることから、減価償却の考え方を取り入れ、有償による価格の見直しを検討したいと考えています。
また、新たな情報伝達手段も日々開発されており、現行システムを更新するのか、又は新たなシステムを導入するのかなど、効率性や経済性、町民への費用負担等々を考慮し、次世代システムの検討も併せて進めていきます。
- ・防災ラジオの運用については、発信内容を防災、防犯、町民全体に係る行政情報に限定した「板倉町防災行政無線の運用管理規程」に基づき運用しています。万が一の時のための防災ラジオであり、基本的には規程に基づく運用に努め、緊急性や重要性、必要性を十分に考慮したうえ、町民への有用な情報発信を行っていきます。

令和6年度 板倉町議会事務事業評価結果に係る検討結果報告書

事務事業名	イメージキャラクター地域活性化事業
-------	-------------------

担当課・係名	産業振興課 商工観光係
--------	-------------

1. 検討結果について

予算決算常任委員会にて改善や検討事項とされた課題について、検討結果や具体的な改善方法等を記入してください。

検討結果、今後の対応予定等

○議会の合議結果

【②見直し（統廃合を含む）のうえ継続すべき事業】

- ・着ぐるみを着用する人の健康対策が必要ではないか。
- ・キャラクターの家族を増やしてみてもどうか。
- ・グッズの種類を増やしてPR活動に活かしては、
（ピンバッジ、シール、クリアファイル、キーホルダー）
- ・冬用のトレーナーやパーカーも作成してはどうか。
- ・グッズの販売方法の多角化を検討すべき。

【改善または見直し方法】

- ・着ぐるみ内に入る人は、夏場の活動は熱中症などになる可能性があることから、体を冷やすための熱中症対策品を購入して暑さ対策を実施しています。また、活動時間もアテンド等と協力しながら工夫をしています。今後は、送風機付きのベスト等の購入も検討し、暑さ対策を万全にしていきます。
- ・イメージキャラクターを増やす場合、現在の設定を守りながら増やす必要があります。例えば、家族の設定にするか、友達の設定にするかで製作（キャラクター設定や色など）に大きく影響します。また、1体増えた場合キャラクターの選択肢が増え、PR効果が増すことは想定されますが、イベント等への参加に際し、従事する職員が少なくても2名増えることも想定されます。今後は2体以上いる自治体等を参考に検討していきます。
- ・町をPRする上で、グッズの種類を増やすことは重要ですが、現在、販売品やノベルティグッズなどの種類が少ないのが現状です。今後は、文房具やバッジなど多様なグッズを製作し、近隣市町で開催する催し物にも参加しながら、PR活動に活かせるよう検討します。
- ・現在、トレーナーやパーカーなど秋冬用の衣類は、町でも商工会でも製作していません。今後は、近隣自治体での製作・販売状況等を調査し、必要性やコスト等を踏まえ、慎重に判断したいと考えています。
- ・グッズの販売方法の多角化については、事業者が商品を製作・販売する場合、「板倉町イメージキャラクター使用取扱要綱」に基づき、イメージキャラクターを無償で使用し、商品を製作・販売することが可能となりますが、売れる商品でないと事業者が製作することは困難であると考えられます。今後は近隣自治体等でのイベントに参加し、知名度が上がれば商品の製作意欲が醸成されると思われしますので、商工会と連携しながら、商品の製作販売ができる事業者の掘り起こし方法も含め判断していきます。